

コープ災害ボランティア ネットワークニュース

【第122号】2023年8月
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティア
ネットワーク幹事会
TEL : 03-3383-7800

7月15日(土)に第21回総会を東京都生協連会館会議室で参集して開催し、総会終了後には「+ONE(プラスワン)」プログラムのワークショップで第18回以来にひさしぶりの笑顔で交流できました。また、今回はGoogleフォームから議決権を行使できるようになり、103名がフォームで提出、ハガキと会場での挙手を含め179名が議決に参加しました。

第21回総会採決結果をご報告します

議決権行使書の結果は以下の通りです。

- 書面議決：56名(第1号議案 賛成56名、反対0名 第2号議案賛成56名、反対0名)
- 全議案議長委任：107名 ■会場挙手：16名 ■無効：1名■(無記入)

議決権を行使した179名を出席者数とみなし、第1号議案「2022年度活動報告承認の件」及び、第2号議案「2023年度活動方針承認の件」は、総会運営規程の第8条(議決事項の成立要件)に則り、出席者の過半数以上の議決により可決されました。また、第3号議案「2023年度幹事選出の件」は、立候補者が幹事会細則第2条で定める定員内のため、全員の選出が承認されました。

新型コロナウイルス後の総会のあり方をCO災ボ幹事会で論議し、第19回と第20回総会で実施してきた「書面議決」による意思表示の継続、オンラインでの議決参加の新設、「議長委任」の意思表示の復活、以上を実現する決議方法を考えました。ハガキ、Googleフォーム、メールでの議決権行使は7月14日(金)16時を締め切りとし、開票立会人1名のもと開票管理者としてCO災ボ事務局1名が開票し、結果を幹事に報告し承認を受けました。7月15日(土)の総会では、西裕子代表幹事による議案提案と審議を経て、挙手による議決を行いました。

西裕子代表幹事から開会挨拶

総会への出席と議決をありがとうございます。本日の総会は179名のCO災ボ会員の意思を受けて開催できました。

2020年1月15日に新型コロナウイルスの感染が確認され3年6か月になります。CO災ボの活動はオンラインでの開催から、ハイブリッドや参集での開催に移った2022年度でした。議決権行使者に「高齢になりボランティア活動ができそうにない」「仕事が忙しく学習会になかなか参加できない」などのコメントをいただきました。

最近の災害は日本中に甚大化して起きており、新型コロナウイルスの影響もあり、被災地や周辺地域のボランティアの活躍が重要になっています。CO災ボ幹事会は、自分自身が被災した時や被災地にボオボランティアとして赴くなど、いざと時のために、学び情報を得る機会を作ることがますます重要だと考えています。「今何ができるか、今できることをする」という思いを共に、2023年度のCO災ボの活動をいっしょに進めましょう。



司会の宮本陽子幹事



議長の中村佳子幹事

2023年度の幹事6名が選出されました

- 石井 武志さん (新任 生活クラブ生協東京 職員)
- 小野 明広さん (継続 パルシステム東京 職員)
- 小野 清さん (新任 住宅生協 職員)
- 鹿野 明美さん (新任 東都生協 組合員)
- 中村 佳子さん (継続 パルシステム東京 組合員)
- 西 裕子さん (継続 東都生協 組合員)

幹事会細則第3条に則り、総会終了後に開催した第1回幹事会で、2023年度代表・副代表幹事を選出しました

- 代表幹事 小野 明広さん
- 副代表幹事 西 裕子さん

学習会「+ONE（プラスワン）プログラム」でお題づくりにチャレンジ！

このワークショップはあるお題に対し、災害時をイメージし自分の行動を考え、直感的にA案とB案どちらかの行動を選択します。そこから、選んだ理由を出し合い、さらにAB以外のC案も作ってみます。正解があるとは限らない災害対応において、様々な意見や価値観を共有し、災害対応を考えるワークショップです。

今回はそれに加えてそのお題そのものを作ることにチャレンジします。4つのグループに分かれ、日ごろ心配していること、気になっていること、災害で経験したこと困ったことなどを総動員して、とっかかりとなるシチュエーションを考えます。

7月の午前11時に首都直下地震（震度6）が発災、東京都内で発災直後～24時間を想定します。大事な点はそのお題で「具体的にイメージできること」、「選択がなるべく半数に分かれるようなお題を作ること」です。



進行の福田信章さん

Aグループ

私は50代の女性で、大田区在住、津波被害の可能性のあるところに住んでいて、夫は会社勤め、子どもは都内で1人暮らし。高齢の両親を9時～16時までデイサービスに預けています。

11時30分に新大久保駅でランチの待ち合わせで、早めに到着したところに地震に遭いました。ケガはありません。電車は止まり、付近では火災が発生、人が密集しパニックになっています。

インターネットも電話もつながらず、誰とも連絡がとれません。友人はおそらく電車内。すでに12時になり、どうしたらよいのでしょうか。

- A：徒歩で自宅に向かう。
- B：しばらくその場に留まる。

Bグループ

私は生協職員で配達ドライバーです。激しい雷雨の中でスクランブル交差点付近にさしかかったところ、道路が冠水していたため進むかどうか考えるために、歩道側に車を寄せて駐車した所で大きな揺れを感じました。

車中で揺れがおさまるまで待ち、しばらくして周りを見ると壊れている建物があり、ケガをした人もいます。供給センターに連絡したいのですが、電話もメールもつながりません。

- A：トラックの中にとどまる。
- B：ビルや高い場所に避難する。

このグループではC案「ケガをしている人を助ける」も発表されました。

Cグループ

私は高齢の1人暮らし。10階建ての団地の1階に住んでいます。団地内では交流が無く、新しいつながりづくりも難しいです。

発災後に団地の上階でトイレを使っているようで1階の私の家のトイレで汚水があふれ、自分だけではどうしようもない状況です。避難所までは遠いので在宅避難も考えますが、避難所には災害時用のトイレの設備があります。

- A：自分だけで避難所に行く。
- B：上の階の人に使わないように言って回る。

Dグループ

私は1歳と3歳の子どもの持つ男性で、市役所の防災課長です。自宅は職場から車で15分。子どもたちはそれぞれ別の保育園に通い、インフルエンザにかかった妻は、仕事を休み病院にいる時間です。保育園、妻、職場と自宅の間にある両親の自宅すべて、電話しましたが通じません。

自分の住むエリアの被害状況はタイムリーに入り、かなり心配な状況です。仕事は山積み。発災から1時間たち、避難者の対応や市役所での炊き出し準備などで、動くことができません。

- A：帰宅しない。
- B：帰宅する。



最後に4つのお題を会場出席者全員で、A案なら右手、B案なら左手を挙げ、チャレンジしました。今回は4つのテーマが多様で、3つのグループではほぼ半分ずつに選択が分かれました。DグループがA案に偏りましたが、その少数派の理由にも納得。しっかり考え意見を聴くことができました。

活発な意見交換と笑顔いっぱいでの2023の活動がスタートしました。この1年もよろしくお願いたします。